

令和3年度 授業改善推進プラン〈保健体育科〉

●保健体育科における昨年度授業改善推進プランの検証

体育分野では、個人・チームの課題に対して考えを深め、具体的な目標や技能ポイントに向けて意欲的に授業に取り組む生徒が多くなった。学年によってはやや授業規律に課題がみられるが、互いに教えあい、認めあう機会もおおむねみられている。今後、苦手意識のある生徒に対しても、「苦手でも努力する」姿勢を支援していきたい。

保健分野では、生徒の個人差や取り上げる内容にもよるが、興味をもって授業に臨み、積極的に授業参加し、課題を提出する生徒が増えている。

●保健体育科における分析と課題

<体育分野>

- ・身体能力や基礎体力に個人差があるが、記録や技能の向上に努力し、意欲的にもチャレンジする生徒が多くみられる。反面、苦手な種目に対しては、授業に消極的になってしまう生徒もいる。
- ・苦手意識がある生徒や不得意な生徒に対し、実現できうる具体的な課題を持たせ、段階的な指導で「やればできる」を体験させ、自信をつけさせることで向上心を育てたい。
- ・昨年度の本校においては“持久力・投力”低下傾向がみられたが、今年度は、感染症防止のための運動時間の制限による体力低下や日常生活での怪我が多いように思われる。
- ・感染症防止の観点からも授業規律や授業環境を整える必要がある。
- ・学年により共修の時間を設定しているが、運動ができる男子と運動が苦手な女子の技能差が大きいので練習課題の設定が難しい。

<保健分野>

- ・保健の授業内容から、普段の生活や学校生活などの身近な問題としてとらえ、考えを深めようとする生徒が多く、生徒自身の経験から得た知識を授業で深めようとしている。
- ・課題の提出状況・提出内容は生徒により差がある。
- ・保健に対する興味・関心はおおむね高い。

●保健体育科における授業改善のための具体的な取り組み

<体育分野>

※感染症防止の観点から、「今できること」から、生徒が授業に意欲的に取り組める環境と授業の工夫を考えていく。

第1学年

- ・授業のルール、集団行動、ラジオ体操等の指導の徹底を図る。
- ・ノートや学習カード、プリントを活用し、記録や技能の向上がわかるようにする。
- ・体育が苦手、不得意な生徒の実態から、より実現可能な課題や教材を研究する。
- ・健康、安全に留意し互いに運動する態度を育てる。

第2学年

- ・授業に集中できる環境・姿勢で全体指示を行い、授業のねらいを明確にする。
- ・技能ポイントを示した学習カード、プリント等を活用し、記録や技能の向上がわかるようにする。
- ・個人・チームの課題を明らかにした授業展開から、互いに学びあい高めあう学習へと深めていく。

第3学年

- ・授業に集中できる環境・姿勢で全体指示を行い、授業のねらいを明確にする。
- ・1・2学年で学んだことの定着を図り、応用、発展できるようにする。
- ・様々な種目に取り組み、生涯を通し運動に親しむ習慣を身につける。

<保健分野>

- ・学年の特徴を活かし、教材の工夫を心がける。授業の導入に気を配る。
- ・具体的なデータ・教材等を提示し、生徒が保健に対して興味関心が持てるようにする。また、生徒が発言しやすいように発問を配慮する。
- ・班やグループでの実習、学習、発表等を通し、生徒自身が積極的に活動できる場を設ける。
- ・ビデオやニュースから、授業で学んだことを日常生活と関連づける工夫をしていく。